



埋文だより

第30号

平成14年12月12日発行

よみがえる縄文ワールド!

—10月5日オープン! 上野原縄文の森—

南九州地域における縄文初期定住化のようすを典型的に示す大集落である上野原遺跡は、その保存と活用を図るため、「鹿児島県上野原縄文の森」として整備が進められ、10月5日にオープンしました。

36㍍の園内には、落葉広葉樹や照葉樹が植栽され、縄文時代の自然環境が再現されています。また、園内は見学エリアと体験エリアに分かれています。見学エリアには、上野原縄文の森展示館、国指定史跡上野原遺跡をはじめとして地層観察館、復元集落、遺跡保存館などがあります。上野原縄文の森展示館は、上野原遺跡から出土し、重要文化財に指定された遺物を中心に、県内各地の出土品を展示しています。また、館内にある縄文シアターやジオラマ、映像資料などで楽しみながら縄文の世界を学習することができます。

体験エリアには、古代体験ゾーンや4月に始良町から移転した埋蔵文化財センターなどがあります。古代体験ゾーンでは、体験学習館で土器・石器づくりや火おこしが、また、屋外では連穴土坑や集石を使った石蒸し料理や薫製料理などが体験でき、さまざまな古代の生活に触れることができます。そのほかに、園内には各種イベントに活用できる祭りの広場や、桜島・錦江湾・霧島連山を眺望できる展望の丘、みんなで楽しめるアスレチック施設も充実しています。ぜひご家族でおいで下さい。

◎開園時間 午前9時～午後5時

◎休園日 毎月第1・第3月曜日、
12/30～1/1



上野原縄文の森のオープンセレモニーの様子

目次	ページ
・よみがえる縄文ワールド	
—上野原縄文の森オープン—	… 1
・上野原縄文の森施設紹介	… 2・3
・私たちの祖先が遺したものを紹介します	… 4
・整理作業室から	… 5
・「南の縄文調査室」から	… 6
・新任教職員考古学講座開催	… 6

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、
土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、
入館料は無料です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

9500年前すでに上野原にはムラがあり豊かな定住



ここは、“縄文の世界と向き合

体験エリア

展望の丘

桜島・錦江湾や霧島連山を一望できるスポット。360度の大自然で気分爽快!!



古代家屋群

県内各地で発見された縄文時代から古墳時代の住居5軒を復元。古代生活の気分を味わってみては。



九日田遺跡 (縄文後期 牧園町)
ウツタ遺跡 (弥生前期 龍郷町)
六ツ坪遺跡 (弥生前期 日吉町)
上野原遺跡 (弥生中期 国分市)
長田遺跡 (古墳前期 有明町)

体験学習館

土器・石器作り、火おこしをはじめ、連穴土坑や集石を使った古代食づくり、竪穴住居作りなど様々な古代生活体験ができる。



照葉樹の森

約7500年前を代表するタブノキ・シイ・カン類などを植栽。

県立埋蔵文化財センター

埋蔵文化財の調査研究・情報発信の拠点。出土品の整理作業風景が見学できるほか、報告書等の資料も図書館で閲覧できる。



? イン
// レス

生活が営まれていた。

「いふれあい学び親しむ場」

見学エリア



約9500年前の ムラの跡が見られる！

遺跡保存館



国指定史跡内の
竪穴住居跡、集石遺構、連穴土坑など約9500年前のムラの跡を見学できる。



復元集落

竪穴住居跡10軒、集石遺構、連穴土坑など約9500年前のムラを復元。当時の暮らしぶりがかがえる。

地層観察館



上野原遺跡の時代を解くカギとなった桜島の火山灰層など上野原台地の地層が見られる。

上野原
縄文の森
展示館

落葉広葉樹の森

約9500年前を代表するクヌギ・コナラなどを植栽。

縄文の世界が
楽しく学べる！



▲▼常設展示室



▲和紙ドーム



▲縄文シアター

上野原遺跡からの出土品のうち、重要文化財を中心に展示しているほか、縄文シアターやジオラマなどで縄文文化を分かりやすく紹介。レストラン・ミュージアムショップもある。

- フォーメーション
- トラン
- +
- 救護所
- トイレ
- 公衆電話
- ロッカー
- 駐車場
- バス停



私たちの祖先が遺したものを紹介します

弥生時代の堅穴住居跡

一桜谷遺跡（金峰町）一

鹿児島県農業開発総合センター建設に伴い調査された桜谷遺跡は、日置郡金峰町にあります。

本年度の調査で、堅穴住居跡が1軒発見されました。この住居跡から出土した土器は、弥生時代中期前葉（約2100年前）の入来式土器とよばれるもので、この住居が弥生時代のものであることがわかりました。住居は、台地上の北側斜面に位置しており、3.7m×3mの方形で深さは40cmほどあります。柱穴も4か所見つかかり、中央部には炉跡と考えられる掘り込みもみられます。この時期の住居の発見は県内でも珍しく、貴重な例といえそうです。



桜谷遺跡の堅穴住居跡

サメ歯の垂飾品

一芝原遺跡（金峰町）一

万之瀬川の河川改修工事に伴い調査された芝原遺跡も日置郡金峰町にあり、川の流水作用によって堆積した砂の上に広がっています。

本年度の調査で、縄文時代後期前半（約3500年前）の砂層から孔の空いたサメ歯（長さ2.3cm幅1.5cm）が発見されました。歯根部の加工痕から垂飾品として利用されていたと考えられます。墓や貝塚以外からの出土は珍しくこれまで県内で発見されている形とは異なり、分厚い二等辺三角形をしています。また、本県としては最も古いサメ歯製垂飾品です。



芝原遺跡出土のサメ歯の垂飾品

遺物から当時の生活が

一仁田尾中B遺跡（松元町）一

県道小山田谷山線改築工事に伴い調査された仁田尾中B遺跡は日置郡松元町にあります。

本年度の調査で、旧石器時代の文化層（約15000年前）から多数の石器製作の痕跡が発見され、製作に伴う大量の黒曜石の破片とともに、製品である細石器や、割り取った残りである細石核が見つっています。これらの破片や細石器などを分析したところ、その中に、素材となる石の性質に合わせて長崎・佐賀地方でみられる技術を使っているものがあることがわかりました。当時の人々の交流範囲や技術力がうかがえる資料といえます。



仁田尾中B遺跡出土の石器

整理作業室から

薩摩焼の貴重な資料の整理進む

— 雪山遺跡（東市来町） —

現在当センターでは、報告書作成のための30遺跡の整理作業が行われています。そのなかで、南九州西回り自動車道建設に伴う雪山遺跡（東市来町）の整理作業を進めるうち、この遺跡が薩摩焼の歴史の上で、重要な遺跡であることがわかってきました。この遺跡からは、変形したり、焼きそこねたような甕・壺・鉢・搦鉢・土瓶などの日用雑器が大量に出土しました。また、製作用具や焼く際に用いられた窯道具なども出土していることから、近くに登り窯があったことが想定されています。東市来町郷土誌（昭和63年刊行版）を調べてみると、「雪山窯」という窯跡がこの付近に所在したことが書かれており、この遺跡の位置とはほぼ一致することがわかりました。雪山遺跡の出土品は、19世紀の薩摩焼の様相を研究する貴重な資料になりそうです。



出土した薩摩焼

整理作業中及び報告書作成中の遺跡一覧

県事業関係

遺跡名	所在地	調査原因
上野原遺跡	国分市	上野原テクノパーク建設
三角山I遺跡	中種子町	新種子島空港建設
鳴野原遺跡	川辺町	鹿児島川辺線改良
鍋尾遺跡	喜入町	知覧喜入線改良
山下遺跡 (垂水・宮之城島津家屋敷跡)	鹿児島市	県民交流センター建設

日本道路公団東九州自動車道関係

遺跡名	所在地	調査原因
福山城ヶ尾遺跡	福山町	東九州 自動車道 建設
永磯遺跡		
桐木遺跡	末吉町	
高篠坂遺跡	財部町	
踊場遺跡		
高篠遺跡		
九養岡遺跡		
耳取遺跡		

日本鉄道建設公団関係

遺跡名	所在地	調査原因
大坪遺跡	出水市	九州新幹線 鹿児島ルート 建設
見入木遺跡		
榎木田遺跡		
鳥越平遺跡		
松ヶ迫遺跡		
前畑遺跡	川内市	
大島遺跡		
上野城跡		
大原野遺跡		
山ノ脇遺跡		
楠元遺跡	伊集院町	
城下遺跡		
西原遺跡		
石坂遺跡	上ノ平	
上ノ平		
武ABC遺跡	鹿児島市	

国土交通省西回り自動車道関係他

遺跡名	所在地	調査原因
宮尾遺跡	松元町	南九州 西回り 自動車道建設
雪山遺跡	東市来町	
犬ヶ原遺跡		
市ノ原遺跡	市来町	
桐木遺跡	末吉町	国道10号末吉IC 関連事業
根木原遺跡	鹿屋市	国道220号古江 バイパス建設

青色文の遺跡については、平成14年度に報告書刊行予定です。

